



JR ほすぴたる

第245号
2021年10月号
発行責任者 事務部長



「変形性膝関節症」について



整形外科
板谷医師

中高年になると、「膝の痛み」を訴える人が徐々に増えてきます。その原因の一つに、骨の変形と炎症を伴って膝の疼痛が出現する「変形性膝関節症」があります。ある疫学調査によると、「変形性膝関節症」を有する人は全国で約800万人、自覚症状の有無にかかわらずレントゲン写真で変形性膝関節症の所見を有する人はなんと2400万人とも言われています。皆さんがよく知る「糖尿病」は約1000万人、「高血圧」は800万人とされているので、「変形性膝関節症」はとてもありふれた疾患と言えます。

一方、WHOの報告によると、日本は世界1位の長寿国でありその平均寿命は84.2歳とされていますが、健康寿命（自立した生活ができる期間）は74.8歳とされており、約10年間は誰かの介護が必要である現状があります。その介護が必要となる原因の3番目（認知症、脳卒中について）に膝関節を含む筋骨格系の機能低下があります。ここまでくるとお気づきの方も多いと思いますが、「人生を元気に自立して過ごしていく」には「変形性膝関節症」を含めた「膝の痛み」をありふれた症状ととらえずに、しっかりと整形外科を受診し早期に専門的な目で診てもらい治療していくことが大切です。

それでは「変形性膝関節症」にはどのような治療があるのでしょうか？一般的には湿布、鎮痛剤の内服、ヒアルロン酸の関節内注射、大腿四頭筋の筋力増強訓練、足底板やサポーター・装具の着用等の保存療法が外来では行われ、これらの保存療法で症状の改善が十分に得られない場合は骨の形態を整える「脛骨高位骨切り術」、痛んでいる部分だけを入れ替える「人工膝関節単顆置換術」、関節全体を入れ替える「人工膝関節全置換術」など患者さんに併せた手術を行います。当科でもこれらの治療を基本的な軸に治療を行っておりますが、手術は色々な事情でできない、またはしたくないが保存療法では疼痛が十分には改善しない場合などでは一般的な治療法では限界があることも事実です。その為、当科では新しい試みとして癒着を注射で剥がすことで疼痛の軽減をはかる「ハイドロリリース」、局所の疼痛と炎症の軽減が期待できる「体外式衝撃波療法」を「変形性膝関節症」の新しい治療選択肢に取り入れています。また、令和2年7月からは採血した血液に特殊な加工を加え膝関節内に注射をする再生医療の一種である「自己タンパク質溶液（APS）療法」を厚生労働省の認可を得て行っており、現在までに約100名以上の方が治療を受けています。当院で行った「APS療法」の治療効果を解析すると変形性関節症の方の約70%の方で疼痛が軽減するという結果が得られています。また、海外の新しい論文で「APS治療」の疼痛の抑制効果は注射後3年間経過しても持続すると報告され、長期の鎮痛効果を示す可能性が示されています。「APS治療」は自由診療となるため治療費が高額（当院297,000円）であることや全員が効果を得られわけではない等の問題点もありますが、「変形性膝関節症」に対する新しい治療選択肢として期待されています。

ここまで「変形性膝関節症」に対する色々な治療方法が出てきましたが、どの治療が一番望ましいのでしょうか。それは1人1人違います。病状の程度に加えて、どのような生活をし、どのような状況に置かれているかそれぞれの人異なるからです。その1人1人に最も適した治療法を見極めて提供することが私たちの仕事です。「膝を元気にし、人生を元気にする」ために、1人で悩まずに相談だけでも当院整形外科に是非いらっしゃって下さい。よりよい医療を提供するために皆さんを笑顔でお待ちしております。



医療の豆知識



肝硬度測定ははじめました!



生理検査室では、新しい超音波検査装置の導入に伴い、7月から肝硬度測定検査を開始しています。肝硬度測定とは、文字通り肝臓の硬さを調べる検査です。

ウイルス感染やアルコール多飲、脂肪肝等で生じる肝機能障害は、持続し慢性化すると肝臓の組織が線維化して硬くなり、最終的に肝硬変となります。肝疾患の進行程度を評価するためには線維化（硬さ）の程度を知る必要があり、スタンダードな検査として肝生検が行われています。しかし肝生検は肝臓に針を刺して細胞を採取するため、痛みを伴い、身体への負担が大きい検査となっています。肝硬度測定は肝生検に代わる検査であり、痛みがなく、入院も不要で繰り返し実施でき、肝臓の線維化を数値で評価できるのが大きな利点です。

当院の肝硬度測定は、Shear Wave Imaging という方式で測定されます。原理を簡単に説明すると、普段の超音波検査で身体にあてる部分（プローブ）から小さな信号を発生させ、その信号が振動となり肝臓を伝わる速さを計測するものです。速ければ速いほど肝臓の線維化が進んでいることになります。

肝硬度測定は、慢性肝疾患等の肝機能障害疑いの方に適応される検査となっています。腹部超音波検査と同時に行う検査ですので、脂肪肝等があり肝硬度が気になる方は、まずは消化器内科にご相談ください。

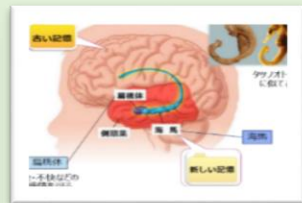
【 臨床検査科 奥 亜沙美 】



JR東京総合病院 高等看護学園へ 認知症看護講義



8月27日、認知症看護認定看護師 和泉香奈さんによる看護学生へのリモート授業が行われました。高等看護学園への講義は今年で3回目となり、学生からは「認知症の方の行動にも理由があってのことだと理解することができた。」「認定看護師にも興味を持った。」などの感想が寄せられていました。2025年には5人に1人の高齢者が認知症を発症すると言われています。病態の理解を深め、安心して入院できる環境が提供できる看護師を育成していきます。



☆鉄道OB会写真展開催☆



8/5~8/27

鉄道OB会仙台支部による写真展が開催されました。四季折々の伊豆沼をテーマにした写真展でした。



「JR ほすびたる 第245号」

☆JR 仙台病院・電話 0120-958-207 予約センター受付時間 9:00~16:00

【診察の順番は予約をされている方が優先となります。】

【当院は予約制となっておりますが、事前予約できない診療科や予約受付時間が上記と異なる診療科があります】

☆検査・診療受付・電話 022-380-2317

☆健康管理センター・電話 022-380-2330 各種健診予約受付時間 13:30~16:00

